

東日本大震災からの 復興まちづくりについて

～防災集団移転促進事業など～



令和2年7月10日
いわき市 都市建設部 都市復興推進課



いわき市の位置

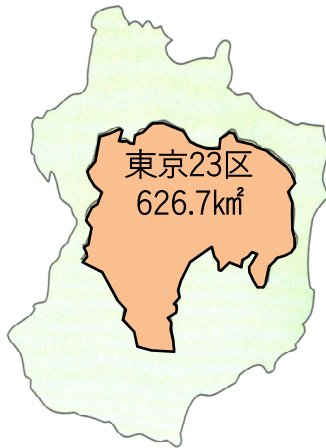


いわき市は、福島県の南東部に位置し、南端は茨城県に接しております。東は太平洋に面しているため、寒暖の差が比較的少なく、穏やかな気候に恵まれた地域です。

本市は、JR常磐線で東京から約200km、常磐自動車道三郷IC～いわき中央IC間は、176kmで約2時間の位置にあります。



昭和41年: 5市4町5村合併 ⇒ 広域多角都市の構造



令和2年1月1日現在

人口	339,641人
世帯数	143,656世帯
人口密度	275.9人/km ²

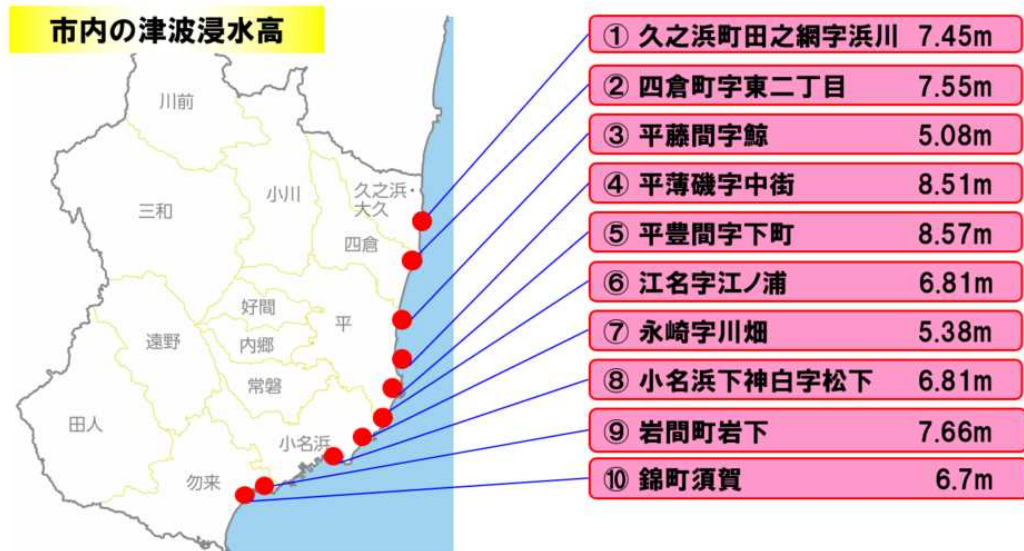
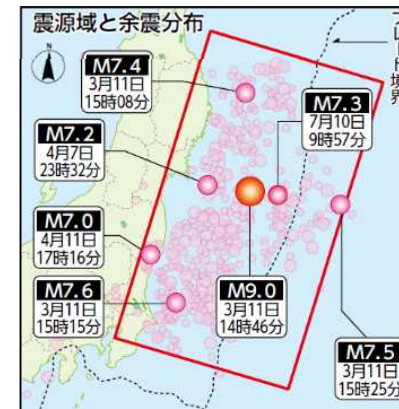


被災状況

被災状況



- 発生日時 平成23年3月11日(金) 午後2時46分頃
- 震央場所 三陸沖(北緯38.1度、東経142.8度)
- 地震名 東北地方太平洋沖地震
- 震源の深さ 約24km
- 規模 マグニチュード9.0
- 本市震度 震度6弱
- 本市最大津波高 8.57m(豊間地区)



公益社団法人土木学会「東北地方太平洋沖地震津波合同調査グループ」による速報値(2012年2月3日参照)



津波襲来の状況(豊間地区/市民提供)

■被害の状況(令和2年1月20日現在)

- 浸水面積 1,776ha
- 人的被害 死者・行方不明者467人 (うち関連死 137人)
- 家屋被害 91,180棟 (うち全壊・大規模半壊 17,155棟)

市街地の被災状況



久之浜地区
(福島県消防防災航空隊提供)



薄磯地区
(福島県消防防災航空隊提供)



豊間地区
(福島県消防防災航空隊提供)



久之浜地区
(市民提供)



薄磯地区
(市民提供)



豊間地区
(市民提供)

市街地の被災状況



小名浜港背後地
(福島県消防防災航空隊提供)



小浜地区
(福島県消防防災航空隊提供)



岩間地区
(福島県消防防災航空隊提供)



小名浜港背後地
(市民提供)



小浜地区
(いわき市所蔵)



岩間地区
(いわき市所蔵)



市街地の被災状況



末続地区

(福島県消防防災航空隊提供)



金ヶ沢地区

(福島県消防防災航空隊提供)



走出地区



錦町須賀

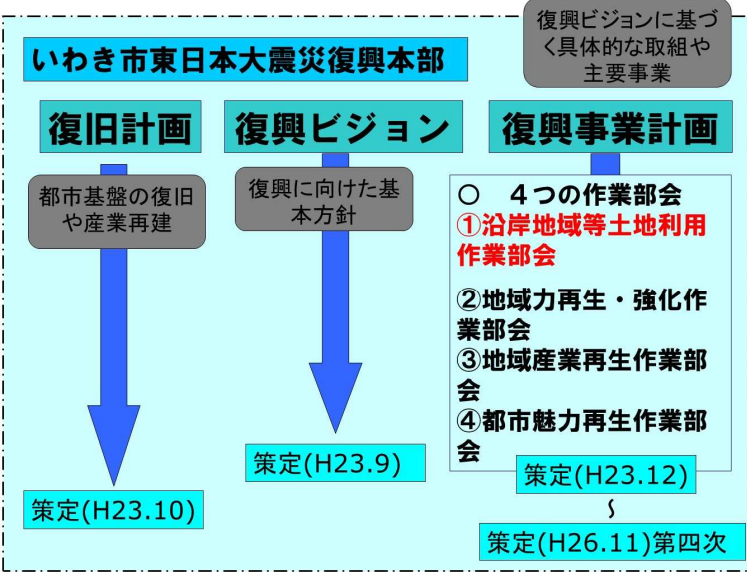
(市民提供)



復興計画 策定の経緯

いわき市復興計画等の策定

いわき市計画等



連絡調整会議(国・県・市・団体等)

庁外検討組織



庁内検討会議



地区の復興協議会との意見交換

支援

津波被災市街地の復興手法調査 (国直轄調査)

目的：津波被災市街地の復興に向けた地方公共団体の取り組みを支援するため実施

- 被災状況等の調査・分析
→復旧対策に力を割かれる地方公共団体を支援するため地域の復興に必要な被災状況等の調査を迅速に実施
- 被災状況、都市特性に応じた市街地復興のパターン分析
→地方公共団体への技術的助言が迅速に出来るよう、被災状況や都市特性、地元意向に応じた市街地復興パターンの検討を実施
- 復興手法等の検討
→市街地復興パターンに対応した復興手法等を検討



監理会議

復興計画の策定経過



年月	経過	摘要
H23.5～	復興に向けた地区協議に着手 ※沿岸域全21地区	被災状況 復興への意見等把握
H23.6	津波被災市街地の復興に関する住民意向調査（第1回） ※沿岸域19地区	7,727/14,672票（回収率52.7%） 被災状況・生活再建意向等の把握
H23.7～	復興パターン検討・住民協議等	
H23.8	津波被災市街地の復興に関する住民意向調査（第2回） ※沿岸域19地区	3,402/6,147票（回収率55.3%） 復興パターンに対する意向把握
H23.9	市復興ビジョン策定	
H23.9～	復興計画（素案）の検討・住民協議等	整備手法・土地利用計画等
H23.10～12	住宅再建意向に係る意向調査 ※地区毎に実施	復興計画（素案）に対する意見
H23.12	市復興事業計画（第一次）策定	被災地区別の復興事業の方針
H24.1～	事業計画（案）の作成・住民協議等	

津波被災地域における市街地整備

- ① 防災集団移転促進事業
- ② 震災復興土地区画整理事業
- ③ 都市防災総合推進事業
- ④ 津波復興拠点整備事業

etc.

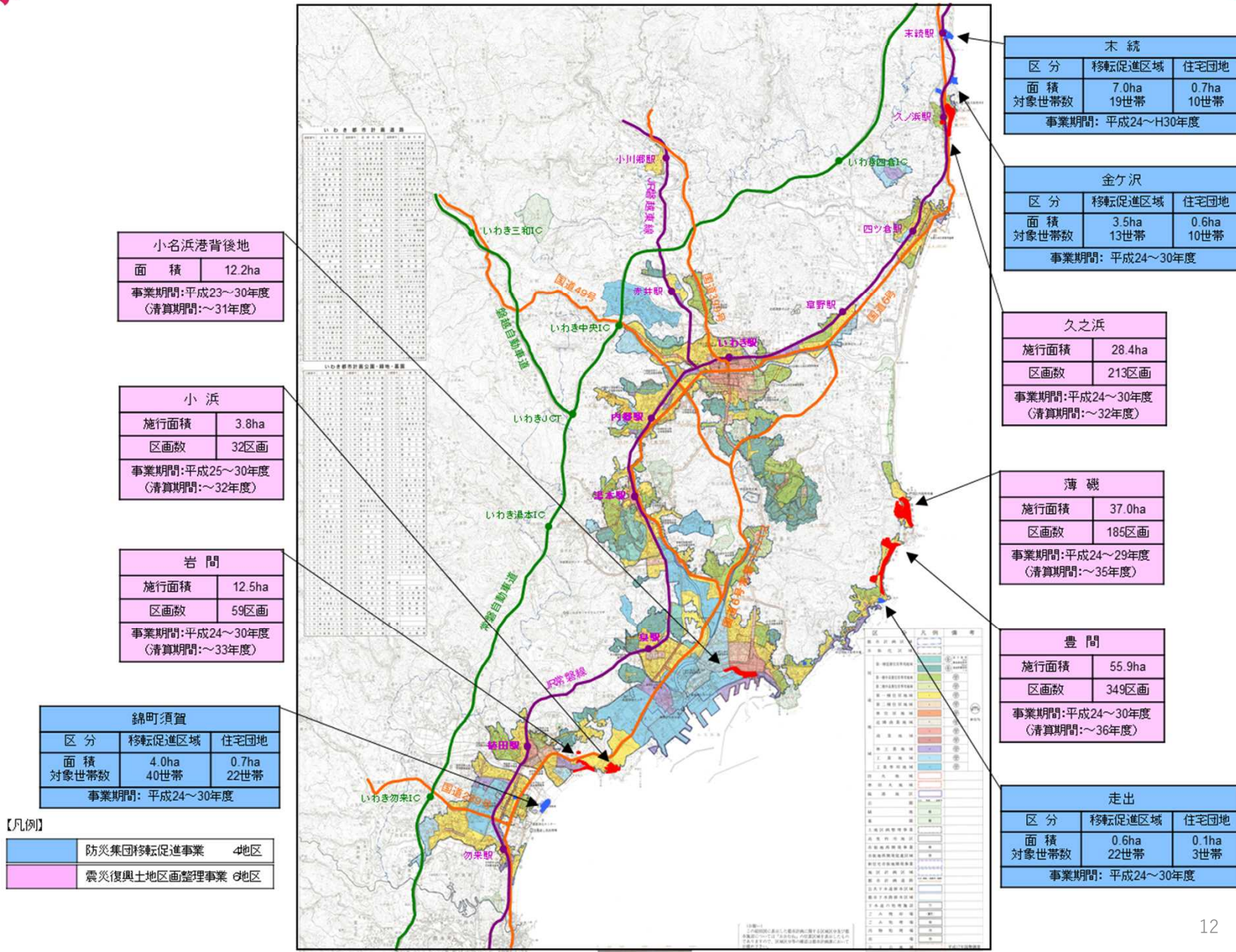
津波被災地域の復興に向けた土地利用プロジェクト

□ 地区別土地利用方針図

地区		土地利用方針
久之浜	末続	<u>防災集団移転（一部区域は現位置復興）</u>
	金ヶ沢	<u>防災集団移転</u>
	久之浜市街地	震災復興土地区画整理事業
	田之網	現位置復興
四倉	四倉	現位置復興
平	沼ノ内	現位置復興
	薄磯	震災復興土地区画整理事業
	豊間	震災復興土地区画整理事業
小名浜	走出	<u>防災集団移転</u>
	江名港	現位置復興
	折戸・中之作	現位置復興
	永崎	現位置復興
	下神白	現位置復興
勿来	小浜	震災復興土地区画整理事業
	岩間	震災復興土地区画整理事業
	錦町須賀	<u>防災集団移転（一部区域は現位置復興）</u>



面的整備による復興事業位置図

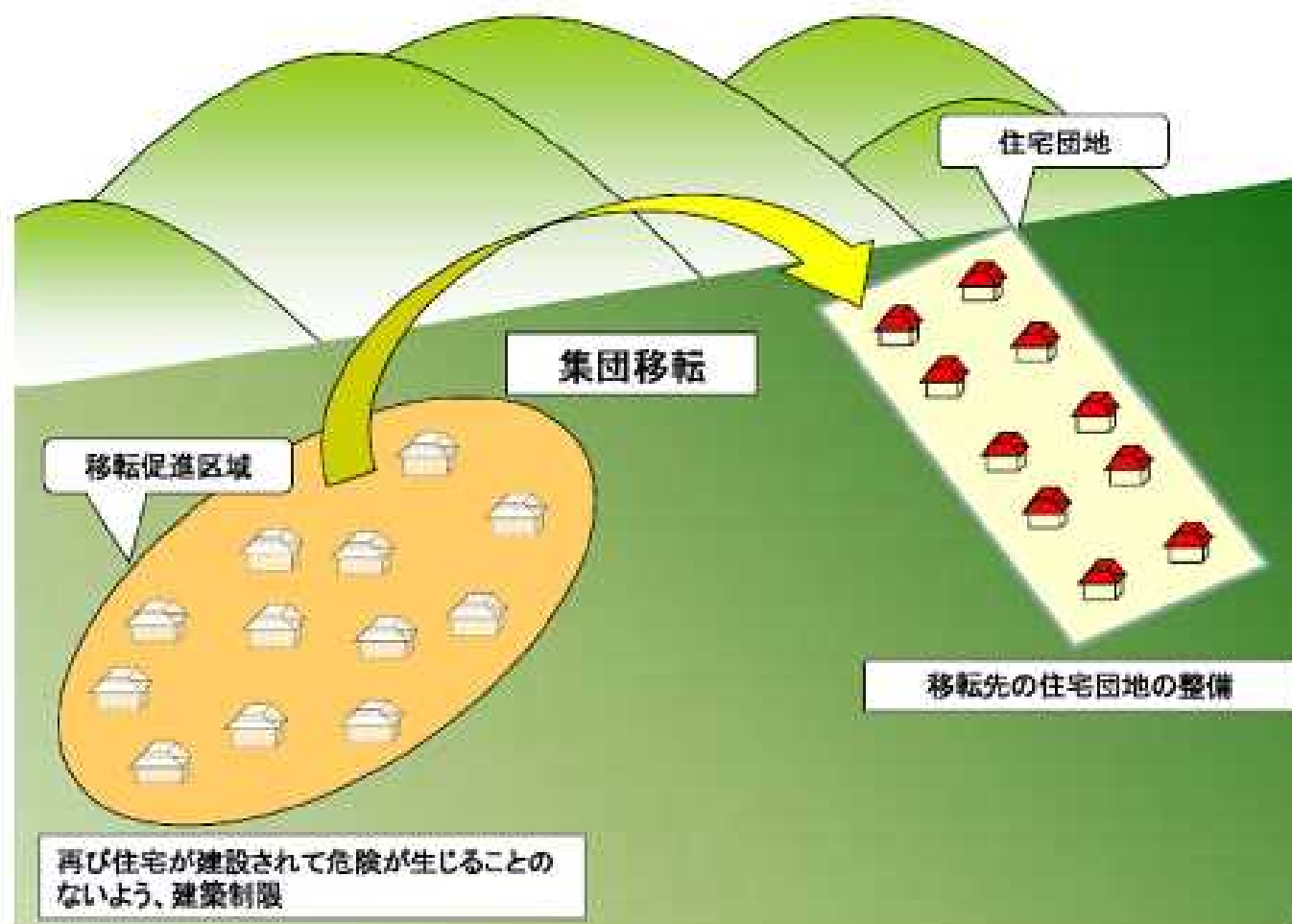




防災集団移転促進事業について

■防災集団移転促進事業

○災害が発生した地域のうち、住民の居住に適当でないと認められる区域を災害危険区域に指定し、住居の集団移転を行う事業



末続地区



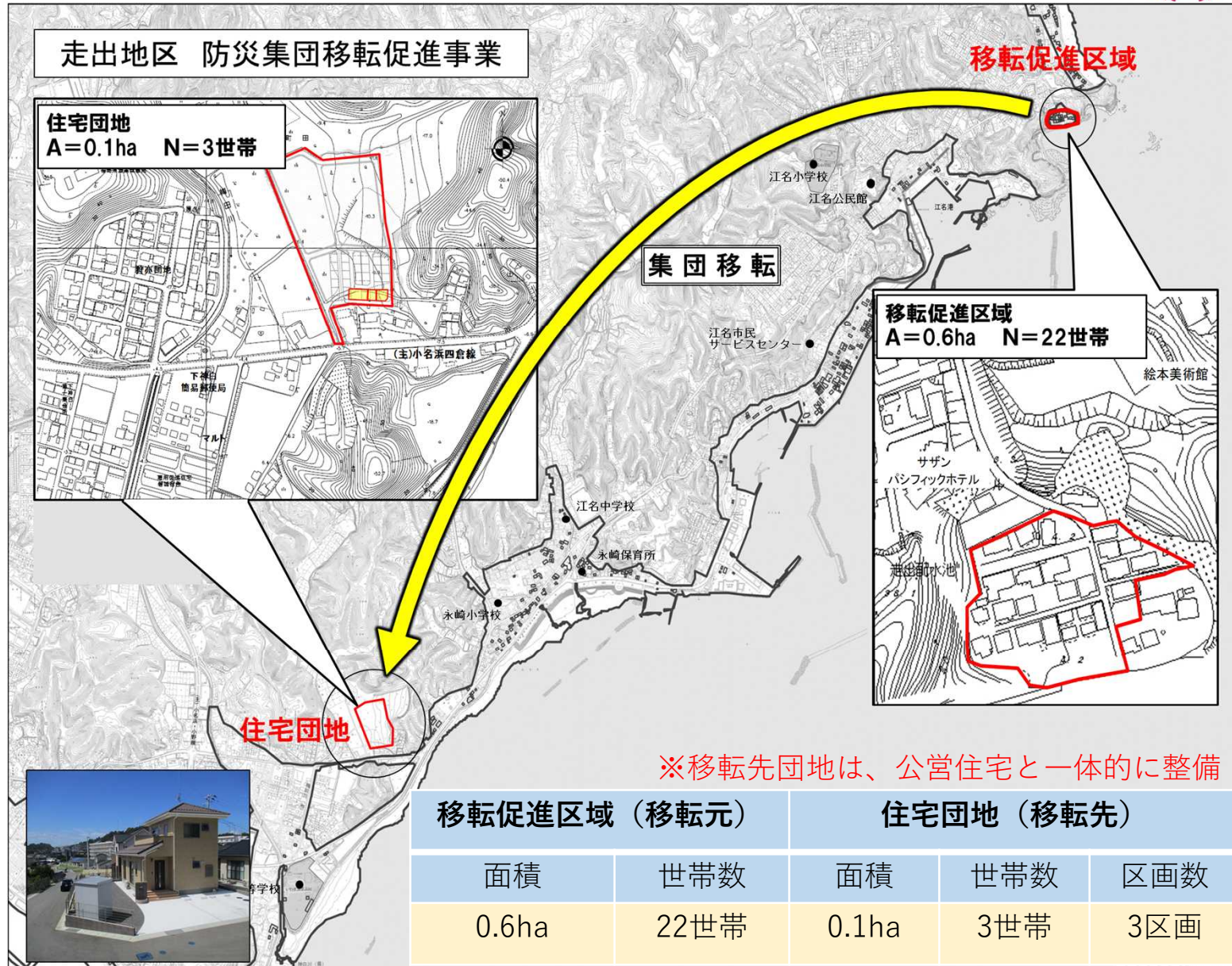


金ヶ沢地区





走出地区





錦町須賀地区



主な経過



【平成23年度】

- ・ H23.5～ 沿岸域全21地区 復興に向けた地区協議着手
- ・ H23.6 4地区 地元意向確認
沿岸域19地区 第1回住民意向調査（生活再建意向等）
- ・ H23.8 沿岸域19地区 第2回住民意向調査（復興パターン意向等）
- ・ H23.9 いわき市復興ビジョン策定
- ・ H23.10～12 意向調査（地区毎：復興計画（素案）意見等）
- ・ H23.12 いわき復興事業計画（第1次）策定

【平成24年度】

- ・ H24.6～11 4地区（移転先地）事業認可（移転促進区域指定 約15.1ha）
- ・ H24.12～25.6 4地区（移転先地）用地買収（全19名 2.0ha）
- ・ H25.1 災害危険区域の指定（市条例 約19.6ha）
- ・ H25.3 4地区（移転先地）住宅団地造成着手（全42区画）

【平成25年度】

- ・ H25.11～ 4地区（移転元地）意見交換会（全18回）

【平成26年度】

- ・ H26.8～H27.4 4地区（移転元地）用地買収（全123名 9.9ha）
- ・ H26.12 4地区（移転先地）団地造成完了（全42区画）
- ・ H26.12～ 宅地引渡し



事業実施に向けた課題

- 個々人の防災意識の差
 - 災害への不安から、『もうここには住むことができない』と考える方がいる一方、土地への愛着などから『避難を前提にここに住み続ける』と考える方がいるなど住民の防災意識も様々であり、意識の擦り合わせが必要。
- 検討・推進体制の構築と個人意向の把握
 - 権利者が自らの地域の今後を考える体制の構築が重要。
 - 合意形成にリーダーシップを発揮する人が重要である一方、声の大きな方の意見に引きずられてしまうこともあるため、個人意向の把握が必要。
- 選択肢の提供
 - 権利者の年齢や資力、世帯状況などを踏まえて集団移転、個別移転、公営住宅への入居などの選択肢を示すことが必要。
- 移転先団地の立地
 - 一層の高齢化を考慮した移転先団地の選定が必要。（インフラ、福祉）
- 移転跡地の利用
 - 移転後の跡地利用について予め検討しておくことが重要。

地域とのコミュニケーションが大切





ご清聴ありがとうございました